



Shift

SHIFT TECHNOLOGY

不正最新トレンドレポート

COVID-19 新型コロナウイルスに関する特別編集版

www.shift-technology.com

不正トレンドレポート 特別編集版

新型コロナウイルス、COVID-19の世界的流行がすでに世界経済に大きな影響を与えています。残念ながら、過去の経験から、企業と個人の双方が経済の不確実性に直面した場合、保険金不正が増加することがわかっています。過去にはリーマンショックによる2008年の金融危機状況下において、保険業界では、不況時とその後の3年間に約10～20%不正請求が増加しました。

我々の初期所見では、感染症の世界的な流行とその経済的影響の結果として、個人、企業、サービス提供者、そして組織化された不正ネットワークによる不正行為が増加し、それが波のように幾度も繰り返し起こることが予測されます。また、不正を企てる者たちは、さまざまな保険の種目を標的としたシナリオを駆使し不正を行うため、複数の保険種目にわたって保険金不正が増加すると考えています。

新型コロナウイルスの世界的流行が広がる中、保険金不正に関し何を観察し、その影響をどのように予測することができるのか？このレポートでは、すでに発生している不正の種類について個々の保険種目に分けて分析し、さらに増加すると予想される新しい不正シナリオについても調査します。

商業用財産

私たちは、商業用財産向けの保険を提供する保険会社に対する不正の影響について分析を進めています。これは、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的流行による経済的影響の結果として、商業用財産保険が最も大きな影響を受けると予想しているためです。新型コロナウイルスによる経済的影響の結果、商業用財産保険における不正が疑われる保険金請求は、通常時の3倍以上になると我々は考えています。

当然のことですが、すでにニュースメディアで広く報道されている通り、多くの中小企業が強制閉鎖または業務削減の影響に苦しんでいます。これは特に、当局によって「生活維持に必要な業種」として指定されていないバーやレストラン、旅行代理店、およびその他の企業に当てはまります。

期待される政府の支援やその他の回復支援プログラムにもかかわらず、これらの企業の多くが不安定な財政状況に陥るのは時間の問題でしょう。歴史が教えてくれる通り、収益の損失を補う最も簡単な方法の1つは保険金詐欺です。放火（事業主が単純にビジネスを完全に破壊すること）は、以前では事業に問題が発生したときに行われる不正でしたが、今日では遥かに簡単に調査および証明できる不正でもあります。

そのため私たちは、保険金不正がビジネスを終了する手段としてではなく、事業をなんとか継続する手段として仕組まれるという、新しい傾向を目にしています。

たとえば、顧客の減少に直面しているレストランや休業しているレストランは、電源の問題が原因で冷蔵システムが故障したことを装い、食品腐敗の請求を行う可能性があります。

ウイルスが流行している間に閉鎖を余儀なくされた店舗は、強盗による被害を偽装するかもしれません。誰にも購入されない商品で一杯となった倉庫では、施設に保管されている商品に対して大きな水害を偽装し請求する可能性があります。以前に述べた通り、事業主が深刻な経済的影響への対策を取るようになると、このような類の疑わしい請求は少なくとも3倍に増える予想されます。保険金請求の増加は、通常の業務にまつわる小さな不正行為と相まって、この種的不正検知が著しく困難になる可能性があることを意味します。

また、事業の経済的損失を軽減するために、事業主が自身の個人保険契約を利用するケースが増加する可能性もあります。このような不正のリスクを軽減するためには、保険会社自身が事業主個人とその事業状況との繋がりを特定する必要があります。

労災保険

あらゆる企業に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的感染拡大の影響は、労災保険に関し興味深い潜在的な影響を示唆しています。短期的な障害やその他の種類の職場問題を含まない典型的な「病気休暇」は通常、労災保険では補償されないため、労災保険を提供する会社は、他の保険会社ほど経済的危険にさらされていないと考えるかもしれません。しかし我々は、新型コロナウイルス(COVID-19)による財務上の影響を軽減するために、雇用主と従業員の双方が労災保険への不正に目を向ける可能性があることを多分に予想しています。労災保険に関する不審な保険金請求は最大40%増加する可能性があります。

中小企業の多くは、企業活動が低下している間の給与を補償するために労災保険を利用しようとするでしょう。企業活動の低下に直面している会社は、一時帰休やレイオフを実施する代わりに、事故を偽装したり、病気で休職させたりする誘惑に駆られます。善意によるものかもしれませんが、このような行為は不正であり、保険会社や他の保険契約者にかかるコストを押し上げています。これは、企業が突然の財政難に陥ったときによく見られる不正のシナリオです。中小企業を中心にこの手法が使用される理由は、不正を成功させるために、雇用主と従業員の間で共謀が必要とされるためです。

多くの場合、労災保険は在宅勤務中の被雇用者をカバーします。これは世界中の被雇用者にとって新しい常識となっているため、在宅勤務中の怪我に関する疑わしい請求が最大20%増加すると予想されます。労災保険における不正の多くは出来心によるものです。怪我の偽装を証明することが難しい在宅勤務では、コロナウイルスによる経済的損失を軽減するために不正を試みる衝動に駆られる可能性が高まるのです。

個人向け自動車保険 および財産保険

世間一般の通念では、世界的に実施されている外出自粛や在宅勤務、その他の“ソーシャルディスタンス”行動の結果として、個人所有の自動車および財産に対する保険金請求が大幅に減少し、したがってこれらの領域における不正も減少することを示しています。実際、自動車保険の請求件数は世界的に大幅に減収しており、すでにいくつかの保険会社では、保険契約者に自動車保険料の払い戻しを行っています。

ただし、新しい不正の傾向が出現してくる可能性が高いことはすでに確認されており、2020年の終わり頃までに既存の手口による不正も増加すると考えています。

流行する可能性が高いと思われる新たな傾向の1つに、配車サービスの運転手によって生計を立てている個人事業者による不正があります。外出自粛によって運転の機会が減っているのと同じ理由で、配車サービスのドライバーが収益を生み出すことがますます難しくなっています。この分野は間違いなく新型コロナウイルスによって経済的にマイナスの影響を受けています。なぜなら、彼らの自動車の経費、つまり彼らの生活の手段を支えることすら今や不可能かもしれないからです。保険会社は、収益を維持することができない配車サービスの運転手が犯す火災や盗難などの全損事故に関する保険金請求の増加に直面すると考えています。これに関連して、一時帰休、レイオフ、または労働時間の短縮のために、自動車ローンまたはリースの支払いができなくなった保険契約者も、このような不正に手を染める可能性があると予測しています。

また、まだそれほど急増してはいませんが、自動車保険を提供する保険会社は、保険契約者の

車両使用における虚偽の申告に対する戦略を策定する必要があります。多くの配車サービスの運転手の収益は大幅に減少していますが、その他の配達ビジネス（食料品、食品、酒類など）は大幅に増加しています。現在、個人所有の車両を使用して配達ドライバーとして活動している保険契約者は、保険料に影響を与える事業内容の変更を自己申告していない可能性があります。

個人向け住宅保険の観点から見ると、多くの日用品を調達するために依存する配達ドライバーへの需要の高まりは、残念ながら、新たな不正行為の機会を生み出す可能性もあります。配達ドライバーの大多数が正直で非常に価値のあるサービスを提供していることは事実ですが、新型コロナによる状況を利用しようとする人もいます。現在のところ増加の割合はごくわずかですが、個人の住宅所有者と賃貸および分譲マンションに対する保険契約両方に対して、より多くの「転倒事故」に関する請求が出始めています。

不正トレンドレポートVol.1（2020年4月）で紹介した通り、修理業者や工場の所有者が行う不正は、特にこれらのビジネスが競争の激しい成熟した自動車市場を持つ国々において、既に保険会社にとって大きな問題になっています。以前に述べたように、新型コロナウイルス流行の中で、修理業者や修理工場の業績が大幅に低下しています。このような状況下において、事故の減少による収益減少の影響を回避するために不正請求を行う誘惑に駆られるかもしれません。

以下はほんの数例ですが、鑑定士が調査する前に車両の損傷を誇張することや、メンテナンス作業を利用した損傷の偽装、車両への法外な清掃費や保管料、またはフロントガラスの虚偽の請求などが起こりうるのです。

医療保険

繰り返しますが、医療提供者のほとんどが不正に手を染めることは無いと我々は強く信じています。多くの場合、新型コロナウイルスの感染拡大に対処するため、彼らは自分の健康を危険に晒しながら最善を尽くしています。それと同時に、医療業界全体においては、新型コロナウイルス流行の影響による経済的損失が無い訳ではありません。医療保険業界は、過去の景気後退期においてもこのような状況を経験しています。

感染流行によって、組織的または軽微な動機による不正、浪費、悪用 (FWA) の増加が起ころうことを我々は想定しておくべきでしょう。組織的な不正ネットワークの観点から、私たちはすでに、検査の偽装、付帯サービス、医療用品 (個人用保護具など)、およびその他のサービスに関連する新たな手口を見ました。臨床検査機関の認定緩和などによって、偽装施設のリスクも増大します。組織化された不正ネットワークは、遠隔医療の利点と利用の拡大を悪用することも狙っています。これらの場合、保険会社は、新型コロナウイルスの検査と治療における新しい医療提供者の登録と請求に対する監視を強化する必要があります。

医療業界では、すでに緊急ではない通常の専門医療サービスの減少が見られているため、多くの医療提供者が経済的負担に直面することが分かっています。トレンド分析では、短期的には医療利用率は予想ほど低下しないと考えられる一方、長期的には、業界が「正常」に戻ったときに、収益の損失を補うため、軽い動機による不正の急増が推測されます。

旅行保険

今回の不正トレンドレポート特別版の最後は、旅行保険に対する新型コロナウイルスの感染流行による潜在的な影響への調査で締めくくります。「在宅」の推奨やその他の政府の要請の結果として、人々の旅行活動は限られているため、旅行保険業界が他の事業分野ほど不正の影響を受けないと想定するのは当然です。ただし、我々は不正検知ソリューションForceを展開するすべての地域において、「ロックダウン」が開始される直前から疑わしい請求の増加を特定していました。

最初の手口は、旅行代理店と客が共謀し、旅行保険のキャンセル補償を追加するために、旅行代理店が当初の予約を変更することで行われます。旅行保険を購入していない、または保険契約の補償内容にキャンセル保険が含まれていなかった客は、キャンセルすることが決定された後、

旅行代理店と協力して予約を修正します。2番目の手口では、共謀の必要はなく、旅行者は、偽装（しばしば偽の怪我やその他の医学的理由）の下で旅行をキャンセルし、保険金を請求します。どちらの手口も新型コロナウイルスの流行に固有のものではありませんが、保険会社はこれらの疑わしい請求を検知するよう注意しなければなりません。

まとめ

不正請求行為の急激な増加はまだ確認されていませんが、過去の経験と請求プロセスにおける不正検知の専門知識から、我々は今後急激に不正が増加すると予測しています。世界中の企業や個人への経済的影響は明白であり、金銭的ストレスは不正を行う重要な要因です。このトピックについては、次回の不正トレンドレポートVol.2で再度取り上げる予定です。

シフトテクノロジーについて

シフトテクノロジー社は、世界の保険業界向けに設計された唯一のAIネイティブの不正検出および保険金自動支払いソリューションを提供しています。同社のSaaS (Software as a Service) ソリューションは、高い精度で個別およびネットワークの不正を認識し、保険会社がより早く正確な保険金支払いができるよう、状況に応じたガイダンスを提供しています。同社はこれまでに数多くの保険金請求について分析を行い、CB Insightsにより2018年Global AI Top 100に選出されました。

サービスの詳細はWWW.SHIFT-TECHNOLOGY.COM/JPをご覧ください